

第9回 京都国際インディーズ映画祭

2015年10月17日(土)



京都・大江能楽堂

〒604-0944 京都市中京区押小路通柳馬場東入橋町 / TEL.075-231-7625

●参加費：1,000円

●お問い合わせ
京都国際インディーズ映画祭実行委員会
事務局：TEL.06-6241-0522
E-mail <h2d.hirose@poppy.ocn.ne.jp>



「映画は、誰のものか」

短編映画

●第9回・京都国際インディーズ映画祭

「第4回 京都映像アワード 受賞作品、一挙上映！」

時代を記憶する「小さな映画」。京都発↓世界。

地域を大切に作る人々の声が「小さな映画」となって各地から届きました。人々の感性が果たすべき役割とは何か。人々の知識が果たすべき役割とは何か。京都映像アワードは、身近な私たちの生活の場にいる大切なモノとコトを共有し、次代に記憶として残し、優れた価値観を伝え、育てるために設立されました。

▼プログラム

10:00～：受付開始

10:30～12:00 ●特別上映：「野花」 監督：横山浩之
主演：趣里、松方弘樹・企画・原案：安東恭助

12:30～ ●【第1部】京都映像アワード 2015 受賞作品上映
フランス、スペイン、ヨルダン、イラク、カナダ、日本など、世界の短編映画を上映。
本年度は、戦後70年の節目と奇しくも9.18安保法案が可決。国家とは何か、国民とは何か、政治とは一体何なのかを世界の映像を通して考える機会にするために「生きる」を特集。

●<上映作品>全16作品(予定)

- ・ある雪の日(イラク)・文化の架け橋を目指して(日本)・福島浜通りの学校(日本)・UNDO(フランス)・君が笑ってくれるなら(日本)・夕焼けの翌日は晴れ(日本)・upland(日本)・また明日(日本)・伝える、伝わる～生活図画事件の証言～(日本)・ろう者が戦争の時代を語る(日本)・アンマン郊外に育って(ヨルダン)・地図から消された島(日本)・YOU(日本)・ロスト(スペイン)・「The Last Chapter」(カナダ)・トーの死(フランス)。

*上映作品は都合により変更になる場合があります。予めご了承ください。

17:00～ ●【第2部】——<京都メディアラ特別企画>——
トークショー：「映画は、誰のものか」

戦後70年、再び平和を考える時代の転換期に「映像の果たすべき役割とは何か」を作品を通して議論する。

- ・杉原賢彦(映画批評家)、佐藤博昭(ビデオ作家)、
- ・谷元浩之(プログラミングキュレーター)、広瀬之宏(映画祭代表)

18:30～ ●【授賞式】京都映像アワード授賞式
・審査総評、入賞者発表、授賞式

19:30 - 終了(予定)



広瀬之宏
●京都国際インディーズ映画祭 代表



杉原賢彦
●映画批評家



佐藤博昭
●ビデオ作家



谷元浩之
●プログラミングキュレーター

パートナー映画祭：京都国際映画祭 2015、KYOTO CMEX

■主催：京都国際インディーズ映画祭実行委員会、京都府 地域力再生プラットフォーム京都映像アワード実行委員会

- 後援：京都メディア・アート・ラボ、TVF 東京ビデオフェスティバル、SVP2、Con-Can ムービーフェスティバル、関西テレビ放送株式会社
- 協力：NPO 遊プロジェクト京都、キミマツサクラ桜色福プロジェクト
- 協賛：セカンドステージ株式会社、(株)映像システム、阪神特機サービス(株)、(株)メディア総合研究所、京都ラジオカフェ(株)、(株)パブ、スタジオチップス、(有)ハーディセカンド、他
- お問い合わせ：京都国際インディーズ映画祭・事務局：TEL.06-6241-0522 Mail to <h2d.hirose@poppy.ocn.ne.jp>